

## 1 実施計画の位置付けと考え方

実施計画は、第四次御殿場市総合計画の将来都市像である「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」を実現するため、基本構想の政策方針並びに後期基本計画の政策・施策体系に基づき、具体的な事業計画を策定するものである。

後期基本計画においては、令和3年度から7年度までの5か年を計画期間として定め、47の政策と208の施策を行うこととしている。本実施計画は、後期基本計画の令和7年度から第五次総合計画前期基本計画につながる3年間を計画期間として、基本計画に掲げる政策・施策を着実に推進していくために実施する主要事業について位置付けるものである。

為替の円安基調推移、長期化する原油価格・物価高騰や、予想を超える速さで進行する少子高齢化・人口減少問題などの不安定な要素はあるものの、賃金伸び率の回復、株価が高い水準で推移するなど、日本経済は30年にわたる停滞からの脱却に期待が高まっている。

こうした中、国では、「経済財政運営と改革の基本方針2024」(令和6年6月21日閣議決定)において、令和7年度予算編成に向け、「持続的・構造的賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本的強化を含めた新たなステージへの移行に向けた取組の加速、防衛力の抜本的強化を始めとした我が国を取り巻く環境変化への対応など、重要政策課題に必要な予算措置を講ずること等により、メリハリの効いた予算編成とする」としている。

本市においては、市民の命と暮らしを守ることを最優先としながら、富士山の恵み、交通の利便性、多くの観光客など、御殿場市にしかない強みを最大限に活かして、戦略的に力強くまちづくりを進めていくことが重要となる。

強固で健全な財政基盤が確立されている今だからこそ、これまでの行政の枠にとらわれない魅力ある事業を展開し、御殿場のより一層の発展に向けた戦略的な事業の重点化と財政の健全性維持の両立を図る必要がある。

これらの実現に向けて、未来を見据えた戦略的な事業の重点化と、将来にわたる強固で健全な財政基盤の両立を図るため、全ての事業をゼロベースから再精査し、市民の安全・安心を確保したうえで、時勢を踏まえたメリハ리를効かせて事業を実施することとした。

## 2 実施計画(令和7年度(8~9年度)) 策定方針

- (1) 第四次御殿場市総合計画後期基本計画(御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び御殿場市国土強靱化計画)に基づく政策・施策を実現するための事業計画とする。
- (2) 未来を見据えた戦略的な事業の重点化と、将来にわたる強固で健全な財政基盤の両立を図る。
- (3) 国・県等の補助制度を積極的に活用し、新たな財源の確保に努める。

### 3 主要事業の概要

3 か年実施計画 令和7年度(8~9年度)として、196事業を実施することとした。策定にあたっては、後期基本計画に掲げる政策・施策を総合的かつ計画的に実施するため、市としての特色を生かすための戦略的事業、緊急度、重要度ともに高い事業として次に掲げる事業を主要事業として位置付ける。

#### <政策方針1 人が集い活力あふれる産業を育てるまちづくり>

- ① 木製おもちゃ館整備事業 ② 沿道利便施設整備事業
- ③ 産業適地調査事業 ④ 富士山Gコイン普及・活用事業

#### <政策方針2 笑顔あふれる健やか・福祉のまちづくり>

- ① 子ども医療費助成事業 ② 第2子以降子育て応援手当支給事業
- ③ 出産・子育て応援交付金事業 ④ 高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業

#### <政策方針3 安全で安心して暮らせるまちづくり>

- ① 自主防災活動推進事業 ② 地域防災無線機器更新事業
- ③ 被災者支援システム導入事業 ④ 交通安全推進事業

#### <政策方針4 富士山のように大きな心を持った人づくり>

- ① 図書館等整備事業 ② 教育ICT環境整備事業
- ③ 教育支援センター事業 ④ 陸上競技場施設改修事業

#### <政策方針5 富士山の恵みを大切にするまちづくり>

- ① 家庭用地域脱炭素移行促進設備等導入支援事業 ② 地域循環共生圏推進事業
- ③ 環境教育推進・自然環境保全啓発事業 ④ 有機資源循環推進事業

#### <政策方針6 富士山の麓にふさわしい美しく快適なまちづくり>

- ① 夏刈工業団地等開発事業 ② 御殿場駅周辺活性化事業
- ③ 都市計画道路新橋深沢線道路整備事業 ④ 地域公共交通対策事業

#### <政策方針7 雄大な富士と共に歩む協働のまちづくり>

- ① 人口減少対策推進事業 ② 富士山保育園留学事業
- ③ 男女共同参画推進事業 ④ デジタル社会推進事業